



大宮東小だより

令和3年4月8日
NO.1 (4月号)

<http://omiyahigashi-e.saitama-city.ed.jp/>

電話 048(644)0311



令和3年度のスタートにあたって

校長 豊島 登

コロナウイルス感染症の不安が拭い切れない中、今年も麗らかな春がやってきました。若葉が萌え、花が咲き、鳥が歌い舞う、すべてのものが清らかで生き生きと輝いて見える季節です。

新年度の人事異動により、教職員の顔ぶれが少し変わりましたが、私自身は今年度も大宮東小学校に勤務できることをうれしく思います。昨年度いただきました御厚情に感謝いたしますとともに、さらに重責を全うできるよう努めてまいります。

さて、4月は、新たな出会いの季節もあります。本日、子どもたちは、新たな学年に進級し、新たな先生、新たな友達との出会いの日となりました。午後の入学式では、希望に満ちあふれる131名の新1年生を迎え、全校児童数721名(22学級)で、令和3年度のスタートです。

おしこれか 教えて之を化するは、かおよがた 化及び難きなり。

かこれおし 化して之を教うるは、おしえいやす 教入り易きなり。 (佐藤一斎)

佐藤一斎は、江戸時代の儒学者です。随想集「言志四録」は、西郷隆盛の愛読書でもありました。“化する”というのは“感化する”という意味です。字句どおりに読むと、「教えてから感化するの難しいが、感化してから教えるのは容易である」となります。

これを私なりに解釈すると、「教え急いではいけない」ということではないかと考えます。躍起になって教えようとしても、人の考え方や態度、行動まで変化させるのはなかなか難しい。でも、教わる側(学ぶ側)がそうなりたいと欲している状態であれば、教えは乾いた砂が水を吸い込むようにすっと入る。教え込もうとするのではなく、学ぶ意欲や教えを受け入れる素直な心をもたせることが大事であるということなのだと考えます。

学校教育目標「広い視野と豊かな心を持ち、夢を抱いて自ら学び、友だちとともにたくましく生きる児童の育成」の具現化を図るため、今年度の教職員のミッションを

子どもがあすの授業を楽しみにする学校を創る。

としました。私たちは、日々の職務そのものが研修の場であることを自覚し、常に学び続ける姿勢をもって、子どもが「自ら学びたい」と思える授業を追究してまいります。今年度も、御支援御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

